

## 平成26年12月教育委員会会議の要旨

### 1 日時

平成26年12月19日(金) 14時00分～15時05分

### 2 場所

山口市役所別館1階第2会議室

### 3 出席委員

大野委員長、國弘委員、宮原委員、横山委員、佐々木委員、竹内委員、岩城委員(教育長)

### 4 事務局

山根教育部長、田中教育部次長、眞砂教育総務課長、田中教育施設管理課長、  
江山学校教育課長、上村社会教育課長、原田文化財保護課長、中原中央図書館長、  
小野教育総務課主幹、中村教育総務課主査

## (議案)

### ○議案第1号「平成27年度山口市立小・中学校教職員人事異動内申の方針について」

#### (概要)

平成27年度山口市立小・中学校教職員人事異動内申の方針について、承認された。

#### 1. 内容

・山口県教育委員会の人事異動方針に基づき、本市の実情を踏まえ、各学校の組織力を強化し、学校教育の充実・向上に努めるとともに、教職員構成の適正化と活力ある学校づくりを進めるため、小・中学校教職員の人事異動の内申を行う方針として策定したもの

#### (主な意見や質疑)

質問： 同一校での勤務が7年を超える者は、原則、異動の内申を行うという例年どおりの方針であるが、これまで実施できているのか。

回答： 病気や産休などにより、まれに年数を超える者もいるが、ほとんどが7年までに異動の内申を行っている。

### ○議案第2号「山口市社会教育委員会議への諮問について」

#### (概要)

山口市社会教育委員会議への諮問について、承認された。

#### 1. 内容

・将来のまちづくりを見据えた青少年教育の在り方について  
・青壮年の力を活用するための環境づくりと新たな人材の育成について  
・高齢者教育の在り方と次世代への継承について

#### (主な意見や質疑)

なし

○議案第3号「山口市文化財審議会委員の委嘱について」

(概要)

山口市文化財審議会委員の委嘱について、承認された。

1. 内容

・民俗と考古の分野において、委員の欠員が生じたことから、平成27年1月1日から平成27年12月31日までの任期で、補欠委員を選出するもの

(主な意見や質疑)

なし

○議案第4号「山口市教育委員会委員長の選挙について」

(概要)

山口市教育委員会委員長の選挙について、下記のとおり決定した。

1. 氏名

おおの よしか  
大野 嘉香

2. 任期

平成26年12月23日から平成27年12月22日まで

○議案第5号「山口市教育委員会委員長職務代理者の指定について」

(概要)

山口市教育委員会委員長職務代理者の指定について、下記のとおり決定した。

1. 氏名

くにひろ ようこ  
國弘 洋子

2. 就任年月日

平成26年12月23日

(報告事項)

○報告第1号「平成26年12月定例会市議会の審議結果等について」

(概要)

平成26年12月定例会市議会の審議結果等について、事務局から報告があった。

1. 内容

(審議結果)

- ・教育費補正予算の議案についての可決
- ・教育委員の任命についての同意

(概況報告)

- ・市立幼稚園における3歳児の入園申し込み状況
- ・山口市いじめ問題対策協議会の開催
- ・山口市就学援助制度適正化検討委員会の開催
- ・山口市歴史民俗資料館におけるアスベスト含有製品の使用判明と対応
- ・山口市立学校の全国大会等の結果

(主な一般質問)

- ・ICT環境整備と校庭芝生化のモデル事業
- ・通学路の安全対策
- ・空調設備の整備

(主な意見や質疑)

質問 : 「いじめ防止・根絶強調月間」では、どのような取組をされたのか。

回答 : 各学校では、講師を招聘し、人権やいじめ、ネット問題についての講演会や、AFPYについての講習会を開催している。このほか、阿東東中学校では、毎日新聞社主催の「私のアイイメッセージコンテスト」や、徳地中学校等は、NHK主催の「いじめを考えるキャンペーンめざせ！100万人の行動宣言」に参加している。また、大内地区では、地域と連携して「あたりまえ10箇条」の看板を設置した取組もある。

質問 : 普通教室には扇風機が設置されているが、教室の使用頻度によっては、理科室にも扇風機を設置することはできるのか。

回答 : いまのところ、学校からの理科室への設置要望は低いが、扇風機の場合は、通常のコンセントで対応できるため、学校と調整していきたい。

質問 : 熱中症を予防するために、塩分を補給できる環境を整えるとは、どのようなことか。

回答 : 部活動等の休憩時間に塩飴を食べるなど、塩分を補給することについての指導を学校にお願いするということである。

質問 : 市内の全小中学校にタブレットを導入することになると、教員を支援する専門員の配置などが必要であるが、それについてはどのように考えているのか。

回答 : 専門員の配置を充実するほか、機器等の操作方法の習得など、教員の技術や資質の向上も必要であるため、教員の研修計画についても考えているところである。